



【問合せ先】

第二管区海上保安本部
交通部航行安全課長 錦部 忠幸
電話 022-363-0111 (内線 2620)

令和4年11月21日
第二管区海上保安本部

冬季海難防止活動を開始します！ ～冬季の荒天時における船舶事故ゼロをめざして～

東北地方では、北西からの強い季節風が連吹するシーズンを迎え、船舶の走錨に起因する乗揚げ海難など、船舶事故の発生リスクが高まります。

平成25～28年には、日本海側で暴風による外国貨物船の乗揚げ海難が立て続けに発生しています。また、発達した低気圧の影響で漁港等に係留中の小型船舶が転覆する海難が毎年のように発生しています。

第二管区海上保安部と各海上保安部署では、以下の活動を展開し、官民一体となって、冬季の荒天に起因する船舶海難ゼロを目指します。

1 実施期間

令和4年12月1日（木）から令和5年3月31日（金）までの間

2 活動内容

(1) 安全指導・啓発活動

各種船舶、船舶代理店等を訪問し、リーフレット等を活用して、荒天に備えた対策の指導や周知活動を実施します。

(2) 情報提供体制の強化

荒天が予想される場合、AISメッセージ及び国際VHF無線電話を利用した情報提供体制の強化を図ります。

3 船舶等への主な指導事項

(1) 最新の気象・海象情報の入手

(2) 荒天が予想される場合の早期避難

(3) 荒天時の錨泊中における適切な見張りの徹底

東北の冬の海に ご用心!!

特に日本海!



走錨対策 しっかり備えて 海難ゼロ!!

- ☑ 最新の気象・海象情報の入手
- ☑ 荒天が予想される場合の早期避難
- ☑ 荒天時の錨泊中における適切な見張りの徹底

冬季海難防止活動実施中

2022 12月1日 ▶ 2023 3月31日



海の安全情報
はこら



第二管区海上保安本部

公益社団法人 日本海難防止協会



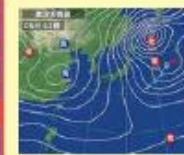
日本海象センター
補助事業

走錨に注意!



走錨海難を防止するために

▶ 基本的事項



- ・気象海象情報の入手と常時把握
- ・国際VHF(16ch)の常時聴取
- ・錨かきの良い錨地の選定
- ・陸岸、障害物、他船等との十分な距離
- ・見張り(自船及び他船の走錨監視等)
- ・AIS常時作動(AIS搭載船に限る)

▶ 荒天時には?

- ・守錨当直体制の強化
- ・錨鎖の伸長又は錨泊方法の変更
- ・開口部閉鎖と移動物の固縛
- ・バラスト及びトリム調整
- ・エンジンのスタンバイと乗員即応体制
- ・状況により錨泊中止→ちゅうゆう航法等



(((走錨を確認する方法)))

- ◆ 風を両舷交互に受けず片舷からのみ受けるような場合、走錨と判断する。
- ◆ 異常なショック感や錨鎖の張り具合から知る。
- ◆ レーダー映像の固定物標の距離と方位の変化から知る。
- ◆ 正横付近にある物標のトランジットの变化(ズレ)から知る。
- ◆ 他の錨泊船との位置関係から知る。



お問い合わせ先

第二管区海上保安本部

宮城県塩釜市真山通3-4-1
代表 022-363-0111